

はじめに

本書は年2回開催している CADET セミナーを書籍にまとめたものです。

1) CADET セミナーとは？

最近の臨床循環器内科分野での診断と治療の進歩はめざましく、その進歩の速さ故に比較的好くみかける疾患のマネジメントでさえもエビデンスをきちんとフォローできないことがあります。そのため、生きた臨床の場から情報発信が必要と考え、2010年くらいに循環器内科若手有志(ただし自己申告制)によって、研修医・専修医の方への啓蒙を目的とした双方向式の症例討論会を立ち上げました。それが CADET (CARdiovascular Education Team) セミナーです。

2) 双方向式症例検討会とは？

このセミナーで双方向式症例検討を導入したのは、セッション中に参加者同士が話し合う仕組みを取り入れると飛躍的に学習へのモチベーションが上がることに由来します(図)。そのため進行を行うものは、高所から発言するのではなく、むしろ議論の流れをスムーズに進行させるファシリテーター(facilitator: 促進者)としての役割を務めるように努力しています。

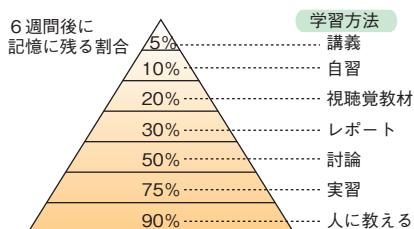


図 学習定着率

出典: National Training Laboratories

3) 臨床推理力を磨け！

今回は初めての試みとして、その一部を書籍として公開いたします。内容は、2010年10月～2012年2月まで行ったものですが、主に水野 篤先生と永井利幸先生より症例呈示が行われ、進行は西原崇創先生と香坂が担当しました。ぜひ名探偵さながらに臨床推理力をフルに使って、読者の皆さんもこの症例の診断・治療について考えてみてください。

2013年3月

慶應義塾大学内科心臓血管炎症学講座

香坂 俊